

まちづくり支援事業都市局審査委員会実施要領

平成 27 年 6 月 30 日 住宅都市局長決定

令和 5 年 3 月 15 日 改定

(目的)

第 1 条 この要領は、まちづくり支援事業都市局審査委員会要綱（以下「要綱」という。）第 7 条第 2 項の規定に基づき、委員会の実施にあたり、必要な事項を定めるものとする。

(検証及び評価に係る依頼)

第 2 条 要綱第 2 条第 1 号又は第 2 号に該当する団体は、「まちづくり支援事業の検証及び評価に係る依頼書」（様式第 1 号）及び次に掲げる書類を添えて、市長に提出しなければならない。

(1) 要綱第 2 条第 1 号による審査

「まちづくり支援事業検証シート（まちづくり助成）」（様式第 2 号）

(2) 要綱第 2 条第 2 号による審査

「まちづくり支援事業検証シート（専門家派遣）」（様式第 3 号）

2 前項による依頼にあたっては、当該担当課の副申書を添えるものとする。ただし、委員会の庶務を担当する課が担当課となる場合を除く。

(審査)

第 3 条 市長は、前条の依頼を受理したときは、適宜委員会を開催して、第 2 条第 1 項第 1 号から 2 号の書類及び「評価シート（様式第 4 号）」により内容を審査し、適否を決定して、その旨を「まちづくり支援事業の検証及び評価に係る通知書」（様式第 5 号）により、検証及び評価を依頼した当該団体へ通知する。なお、否とする場合は、理由を付して当該団体へ通知する。

附 則

この要領は平成 27 年 6 月 30 日から施行する。

附 則

この要領は平成 28 年 3 月 31 日から施行する。

附 則

この要領は平成 29 年 3 月 31 日から施行する。

附 則

この要領は平成 30 年 3 月 30 日から施行する。

附 則

この要領は平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は令和元年 11 月 15 日から施行する。

附 則

この要領は令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は令和 5 年 3 月 15 日から施行する。

神戸市長宛

住 所.....

団 体 名.....

代表者氏名.....

電 話.....

まちづくり支援事業の検証及び評価に係る依頼書

年度に申請を予定している 協議会のまちづくり支援事業
の適否に係る検証及び評価を受けたく、関係書類を添えて依頼いたします。

記

1 検証・評価の対象（該当する項目の□にレ印を入れてください。）

まちづくり助成

まちづくり専門家派遣

<input type="checkbox"/> まちづくり構想策定	<input type="checkbox"/> 協定等策定	<input type="checkbox"/> 都市計画事業推進
<input type="checkbox"/> 建築物共同・協調化	<input type="checkbox"/> 地域提案事業	

2 添付書類

(1) 検証シート

年度 まちづくり支援事業検証シート(まちづくり助成)

様式第2号

団体の概要	名称			所在地	区
	設立年月		面積	ha	世帯数
	設立目的				
	協議会認定年月			構想提案年月	
	協定締結年月			協定期限	
	地区計画決定年月			その他のルール等	
	助成区分			事業完了目標年次	年度
	助成年数	年	過去3年の助成額合計		円
	派遣専門家				

これまでの取り組みと今後の予定	主となるまちづくりのテーマ									
	これまでの取り組みと今後の予定									
	項目	年度	過年度	今年度	今後の予定					
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	
	(1)地域の環境改善	(ルール系まちづくり)								
	(2)都市基盤の整備	(事業系まちづくり)								
	(3)良好な景観形成	(景観系まちづくり)								
	(4)自立化に向けた活動	(専門家に頼らない自主的な取り組み)								
	(5)啓発活動									
	(6)人材育成活動									
(7)その他										

活動のPR	<これまでの取り組みについて>
	<今後の取り組みについて>

団体の概要	名称	〇〇まちづくり協議会			所在地	東灘区
	設立年月	1982年9月	面積	10.8 ha	世帯数	約1,200 世帯
	設立目的	美しい街並みの〇〇、豊かな自然のある〇〇、健全な青少年を育む清潔な〇〇の町づくりを推進する。				
	協議会認定年月	1982年10月	構想提案年月	1987年8月		
	協定締結年月	1988年10月	協定年月	1989年10月		
	地区計画決定年月	1989年3月	その他のルール等	屋外広告物ルール&ガイドライン		
	助成区分	まちづくり推進準備団体助成	事業完了目標年次	-	年度	
	助成年数	38年	過去3年の助成額合計	900,000	円	
	派遣専門家	〇〇株式会社				

主となるまちづくりのテーマ

〇〇らしさを生かしつつ、より健全な地区環境の形成を図るため、「うるおいと調和のある美しいまち」を基本理念にしたまちづくりとする。具体的には、屋外広告物ルール&ガイドラインの周知活動と運用、まちづくり協定の運用、まちづくり活動の周知および住民の意識啓発を行う

これまでの取り組みと今後の予定

項目	内容	年度							
		過年度 年度	今年度 年度	今後の予定					
		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
(1)地域の環境改善 まちづくり協定 地区計画	(ルール系まちづくり) まちづくり協定の運用 地区計画の運用	(協定更新)			(運用)				
(2)都市基盤の整備 まちづくり宣言	(事業系まちづくり) 自主ルールの運用			(運用)					
(3)良好な景観形成 屋外広告物ルール&ガイドラインの周知と運用	(景観系まちづくり) ルールの周知活動と運用		(周知活動・運用)					(運用)	
(4)自立化に向けた活動 審査基準	(専門家に頼らない自主的な取り組み) 審査基準の策定・運用			(審査基準策定)			(審査基準運用)		
(5)啓発活動 ニュースの発行 黄昏コンサート	定例的に協議会活動を年3回以上発行 H30より毎年開催	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
(6)人材育成活動 他地域・他都市との交流	景観形成市民団体・5都市とまちづくりに関する情報交換	○	○	○	○	○	○	○	○
(7)その他 3つのルールの整理	勉強会の開催			(集中勉強会)					

<これまでの取り組みについて>

・30年以上の長きにわたって、「うるおいと調和のある美しいまち」を目指して活動を続けています。まちづくり協定や屋外広告物については、専門家の支援もいただきながら事前協議を行い、よりよいまちに変わってきていると自負しています。

<今後の取り組みについて>

これらのルールを自主的に運用できるような取り組みを進めます。また、幹事メンバーが若手に交代したことから、〇〇のルールを様々な観点から勉強をし、今後の〇〇の将来像を深めていきたいと思っています。

これまでの取り組みと今後の予定

活動のPR

団体の概要	名称					所在地	区
	設立年月	(年目)	面積	ha	世帯数	世帯	
	設立目的						
	協議会認定年月				構想提案年月		
	協定締結年月				協定期限		
	地区計画決定年月				その他のルール等		
	派遣専門家				派遣年数		

主となるまちづくりのテーマ

これまでの取り組みと今後の予定

来年度のコンサルタント区分

テーマ	年度	年目	年目	年目	年目	年目	年目	年目	年目	年目	年目
		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
(1)地域の環境改善											
(2)都市基盤の整備											
(3)良好な景観形成											
(4)自立化に向けた活動											
(5)啓発活動											
(6)人材育成活動											
(7)その他											

<これまでの取り組みについて>

<今後の取り組みについて>

これまでの取り組みと今後の予定

活動のPR

団体の概要

名称	〇〇〇〇まちづくり協議会			所在地	東灘区
設立年月	2018年3月	面積	1.9 ha	世帯数	180 世帯
設立目的	〇〇地区内の住民及び事業者・権利者等が自ら「話し合い」「課題を共有し合い」「知恵を出し合い」進めることにより、賑わいと交流のある、安心して住み良い町にする。				
協議会認定年月		協定締結年月		協定期限	
協定締結年月	-	協定期限			-
地区計画決定年月	-	その他のルール等			-
派遣専門家	株式会社●●			派遣年数	

事務局で記載済み

主となるまちづくりのテーマ

〇〇地区の風土を活かした健康で文化的に暮らせるまちを目指して、まちづくり構想の策定及びまちづくり構想の実現に向けた取り組みを進める

これまでの取り組みと今後の予定

来年度のコンサルタント区分		協定等策定(4年)									
テーマ	年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
(1)地域の環境改善 まちづくり構想 まちづくり協定		まちづくり構想策定 アンケート		アンケート	まちづくり協定策定 アンケート		まちづくり協定運用				
(2)都市基盤の整備											
(3)良好な景観形成											
(4)自立化に向けた活動 資金確保 審査基準	協賛金の確保				事業者の勧誘・寄付金の確保						
	審査基準				協定の審査基準・運営方法の検討						
(5)啓発活動 ニュースの発行	年2回程度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6)人材育成活動 イベント開催	●●まつり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	●●会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(7)その他											

これまでの取り組みと今後の予定

<これまでの取り組みについて>
 ・●年前に大規模開発された集合住宅が建替の時期を迎えていることや、用途見直しを求める声が発活してきたことを受け、自治会等を母体にまちづくり活動を続けてきました。
 ・2020年度からは専門家の支援を頂き、住民等の総意を反映したまちづくり構想を今年度策定することができました。

<今後の取り組みについて>
 ・まちづくり構想に基づき、まちづくり協定を策定することで、住み良いまちづくりを推進します。また、若年層にまちづくり協議会に参加して頂くために、地域でのイベント等にも注力していきたいと思いをします。

活動のPR

1. 事務局 査定

共通項目

- 構想の具体化に取り組んでいるか。
- マスタープラン等に位置づけがあるか。 []
- 市が優先的に取り組む事業か。 []
- その他 ()

まちづくり助成

- まちづくり活動を、長期にわたり組織的に行われてきたか。
- まちづくりの自立に向けた活動を計画しているか。
※自立:助成金に頼らず、地域の力で持続的にまちづくり活動を行うこと
- 他のまちづくり団体への啓発活動等が可能か。
- 人材養成活動を行う資質を有しているか。

事務局提案: 年間の助成を適とする。

専門家派遣

- 専門家の技術的支援が必要な内容となっているか。
- まちづくりの自立に向けた活動を計画しているか。
※自立:専門家に依存せず、地域の力で持続的にまちづくり活動を行うこと
- スケジュール管理は適切か。

事務局提案:コンサルタント派遣(まちづくり構想策定)を適とする。

事務局意見

2. まちづくり支援事業都市局審査委員会 審議

○年●月○日 開催

まちづくり助成 適 否(理由:)

留意事項

専門家派遣 適 否(理由:)

留意事項

3. まちづくり専門委員会 意見聴取

○年●月○日 開催

専門委員意見

住 所

団 体 名

代表者氏名 様

神戸市長

まちづくり支援事業の検証及び評価に係る通知書

年 月 日付で依頼のあった 協議会のまちづくり支援事業
(まちづくり助成・まちづくり専門家派遣)の適否に係る検証及び評価について、下記のとおり
通知します。

記

1 検証・評価の対象と適否

- まちづくり助成を [適 ・ 否] とする
- まちづくり専門家 (コンサルタント) 派遣を [適 ・ 否] とする。

2 検証・評価における意見

3 否とする場合の理由

4 添付書類

- (1) 検証シート
- (2) 評価シート